

電波資源拡大のための研究開発 平成21年度事前評価結果

案件名	実施期間	評価会での主なコメント	評価点
超高速移動通信システムの実現に向けた要素技術の研究開発	H21～24	<ul style="list-style-type: none">・超高速化に向けての要素技術の研究は、我が国の先端技術開発力の維持のために先行して行うことが重要である。・全体として成果が出るように、うまく調整してほしい。・前提となるシステムモデルを明確にし、どの要素技術の研究開発を行うのかを明確する必要がある。	3.6
次世代無線通信測定技術の研究開発(拡充) ～広帯域変調波の高感度測定技術の研究開発～	H21-22	<ul style="list-style-type: none">・UWB技術の発展のために必要である。・測定帯域幅を大幅に拡大し、かつ、信号の劣化を可能な限り抑制した測定技術の確立は、UWBの国際基準の測定を実現するため必須な目標であり、推進すべきである。・達成目標を数値的に明示し、確実に目標を達成すべきである。	3.9